

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月11日

【評価実施概要】

事業所番号	3873500676		
法人名	有限会社 SKR		
事業所名	グループホーム さくら		
所在地	伊予郡砥部町高尾田1008-6 (電話) 089-956-5358		
管理者	山本 康正		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMCS		
所在地	松山市千舟町六丁目1-3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年11月17日	評価確定日	平成20年12月11日

【情報提供票より】 (平成20年10月1日事業所記入)

(1)組織概要				
開設年月日		平成15年12月1日		
ユニット数		1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数		11 人	常勤	2人, 非常勤 9人, 常勤換算 6.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)				
家賃(平均月額)		36,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金		有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)		有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,100 円			
(3)利用者の概要 (平成20年10月1日現在)				
利用者人数		9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1		3 名	要介護2	4 名
要介護3		1 名	要介護4	0 名
要介護5		1 名	要支援2	0 名
年齢	平均	86.9 歳	最低	76 歳
			最高	96 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算				
指定 (あり)・なし		指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)		指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)		短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし		医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- ・日曜日には、のど自慢を見ることを楽しみにされている方や雑誌を定期的に購入される方等、これまでの暮らし方を続けられるよう支援されている。
- ・ご本人からは、「楽しく暮らしたい」という希望が多くある。午前中に体操の時間を設けておられた。演歌歌手のビデオ等を楽しまれることもある。
- ・管理者は、自らもケアにかかわりながら、職員に細やかに気配りをされている。この一年間、職員の異動はなかったようである。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・この一年、法人代表者や管理者は「職員の心のバランス」に細やかに気配りされ、職員のチームワーク作りに取り組まれた。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・管理者は、職員に聞き取りながら自己評価を作成された。評価機関から発する家族アンケートの集計表等を活用し、ご家族の心情の把握に取り組まれていた。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議時には、出席者にグループホームのことをさらに知っていただけるよう、利用者の暮らしぶりや認知症について等、法人代表者がお話されている。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族の来訪時、ご本人の日々の暮らしぶり等を報告されている。又、事業所使用は、職員の紹介や行事時等の写真をふんだんに載せておられる。
▼ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・散歩時、近所の方に声をかけてもらっている。近所の方のお庭に花を見に行かれることもある。又、地域のボランティアの方が、利用者のお話相手に来てくださることもある。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホームさくら

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

山本 康正

評価完了日

平成 20 年 10 月 1 日

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			その人らしく、今まで生きてきた暮らし方を大切に し、継続性を考えながら、出来るだけ今までのペース を大切に、地域の中で暮らし続けるように支援して いる。		その人らしさをテーマにし職員全員で利用者の方のケ アの方針や、接し方を常に全員で話し合うようにして いる。
			(外部評価)		
			事業所では、利用者やご家族、地域の方達と「心と心 のお付き合い」ができるよう、「精神面を大切」に関 係作りに努めておられる。		さらに、地域の中の「地域密着型サービス」事業所と して、どのようなことを目指していくのかということ を示していかれてほしい。
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎日の申し送りや、その際気づきに対しての話し合 い、月に1回のミーティング、カンファレンスの際、 支援が利用者の方一人ひとりに合っているかどうかを 確認しあい、話し合っている。		
			(外部評価)		
			管理者は、「自分がされて嫌なことはしない」ことを 職員に伝えておられる。		
3		○ 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続 けることを大切にしたい理念を、家族や地域 の人々に理解してもらえるよう取り組んで いる	(自己評価)		
			家族の方には、契約時や面会時やカンファレンス時 に、地域の方には、運営推進会議の際に事業所の理念 を説明し、理解が得られるように伝えている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけた際は、花作りの大好きな近隣の方と挨拶を交わしたりするよう心がけている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の神社の夏越しや夏祭り、地方祭への参加、小学生との心の交流、医療技術大学の学生の実習の受入れ等で交流している。 (外部評価) 散歩時、近所の方に声をかけてもらっている。近所の方のお庭に花を見に行かれることもある。又、地域のボランティアの方が、利用者のお話相手に来てくださることもある。		事業所では、今後、地域の方達に向けた介護教室の開催等を検討されていた。さらに、事業所に気軽に来られるような関係作りや、小学生との交流等も活発にすすめていかれてほしい。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等で、地域の方に向けて話し合いをしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ミーティングの際に、自己評価についても全職員にて話し合いを持っている (外部評価) 管理者は、職員に聞き取りながら自己評価を作成された。評価機関から発する家族アンケートの集計表等を活用し、ご家族の心情の把握に取り組まれていた。この一年、法人代表者や管理者は「職員の心のバランス」に細やかに気配りされ、職員のチームワーク作りに取り組まれた。		さらに、サービス評価に取り組む際の事業所での気付きは、質の向上に向けた取り組みの起点でもある。職員個々の気付き等も大切に、具体的な取り組みを進めていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議にて、施設の理念、内容などを説明し、質問や意見を出していただき話し合っている。 (外部評価) 会議時には、出席者にグループホームのことをさらに知っていただけるよう、利用者の暮らしぶりや認知症について等、法人代表者がお話されている。		職員全員で、利用者の方へのサービスの向上に、運営推進会議をどう取り入れるかを話し合っている。 今後、事業所では、日々の課題をテーマにして出席者と話し合うことを検討されていた。会議時に、ケアの質向上に向けた話し合いができるよう、会議のすすめ方について工夫を重ねていかれることが期待される。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 砥部町、介護保険施設、ケアマネジャー連絡会があり、3ヶ月に1回テーマを決め、市町村の担当者も一緒に勉強会をし、質の向上に取り組んでいる。 (外部評価) 会議時、市の担当者の方に介護保険等について説明をしていただくこともある。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在のところ必要な方はいないが、地域福祉権利擁護事業や、成年後見人制度について学んでいる。		職員にも積極的に研修に参加するよう勧めている。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 毎日の申し送りや、月に1回のミーティングの際にも、高齢者の虐待防止については十分注意をし、話し合いを持っている。		高齢者の虐待防止について、話し合っている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用を予定している方については、見学や自宅への訪問をし話し合いの機会を多く持ち、質問内容については、丁寧に説明し、契約時にもゆっくりと説明している。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員は利用者の方との日常会話の中で、不安や本人の希望を聞きだし、その人らしい支援が出来るよう、家族の方からも意見を聞き、その内容について職員間で話し合いを持っている。		
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 家族の面会時に健康状態や日常の様子等を説明している。また、毎月の便りなどで写真を添えて家族に送付している。また、必要時は家族の方と電話にて報告、連絡、相談をしている。 (外部評価) ご家族の来訪時、ご本人の日々の暮らしぶり等を報告されている。又、事業所便りは、職員の紹介や行事時等の写真をふんだんに載せておられる。		年3回くらい家族と食事を兼ねた行事を行い、職員との話す機会を多くし、話し合える雰囲気作り、話し合える場を持っている。 さらに今後、利用者からの預かり金について、毎月、ご家族に報告することを決めておられた。
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族の方の話しやすい環境を作るとともに、意見や希望等を聞くように努めている。 (外部評価) ご家族からは「任せているので安心している」というような意見が多い。		信頼関係を作れるよう、運営推進会議や行事などで、家族の方と話し合いの機会を多く持てるようにしている。 さらに、ご家族の心情を踏まえ、具体的なご意見をいただけるような働きかけや、取り組みの工夫を重ねていかれてほしい。又、ご家族が事業所にかかわるような機会作り等も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 常時後、ミーティング時に、全職員の意見を聞いている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の方の生活のリズムを把握し、必要な時間帯に調整している。行事に対しては人員を確保している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職を希望している職員とは話し合いの時間を設けている。 (外部評価) 管理者は、自らもケアにかかわりながら、職員に細やかに気配りをされている。この一年間、職員の異動はなかったようである。		新しい職員にはマンツーマンで利用者の方のポイントを説明し、早くなじみの関係が築けるよう支援している。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会の参加を呼びかけたり、研修ビデオを全職員で見たり、ホームにも、介護の本やDVDを置いていつでも利用出来るようにしている。 (外部評価) 外部研修や県GH協議会主催のフォーラム等にも積極的に参加されている。又、書籍等、職員がいつでも勉強できる環境作りをされている。さらに、事業所内では、カンファレンス時等に、ケアについて意見交換をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			相互研修等への参加を積極的に行っている。研修に参加した職員にはミーティングの時などに気づきなどの発表をしみんなで話し合いの場を持つようにしている。		
			(外部評価)		
			町内の「ケアマネ連絡会」等にも参加し、意見交換をされている。		今後、町内の同業者とのネットワーク作りをすすめていかれることも検討されていた。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			何でも話し合える雰囲気作りを心がけ職員のストレスや悩みがあれば、日常的に受け止めて、話し合えるようにしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の性格や勤務状況を把握し指導することにより、職員個々が自己啓発し向上心を持って勤務できるよう努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			事前に生活状況や性格などを出来るだけ把握できるように努めて、本人や家族に希望を聞くようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前に家族の要望を聞き事業所としての対応などを詳しく説明している。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族の要望や求めているものを理解し、事業所として出来るかを話し合っている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族にいつでも見学に来ていただいて、運営者や管理者と十分話し合うことで安心して利用してもらっている。 (外部評価) 入居時には、ご家族の要望等を聞き取り、ご本人の情報も収集してから支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の思いや不安、また、好きなこと、食べ物、得意なことなどを把握し生活の中で支えあう関係を築くようにしている。 (外部評価) 職員は、利用者から百人一首や歴史について教えていただくこともある。		さらに、日々の中で利用者から教えていただくような場面を増やしていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日頃から家族の方と話す機会を多く作り、本人からの希望や、訴えなどを家族に相談しながら、協力し合える関係作りに努めている。		
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の思いも家族に伝え、家族の思いも受け止め支援するようにしている。		
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族の方を中心に、なじみの人への電話や、相手の方の都合をお聞きしての訪問なども考えながら支援している。		
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 朝からの声掛けの中で話を聞いたり、井戸端会議や食事やおやつの時も、空気を読むように心がけ、必要時は、仲介役をしたり、いていえる。		
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) サービス利用が終了しても、家族の方からの相談があれば、のっている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者の方と過ごす時間を多くして、その中で本人の希望や関心を探り、笑顔が多く見られる場面作りをしている。その時の反応などにも注視し把握に努めている。		
			(外部評価)		
			管理日誌や申し送りノート等に、利用者の言葉や職員の気づきを記入し、利用者個々の思いや意向の把握に努めておられる。		利用者一人ひとりの思いや希望をさらに把握し、全職員で共有できるような仕組み作りが期待される。細やかな支援を行うためにも、利用者一人ひとりの情報を集め、日々のケアにつなげていかれてほしい。
34		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			契約のときや、話し合いのとき、家族からの情報や資料を基に、その人らしい尊厳のある暮らしをテーマに、把握に努めている。		
35		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			生活のリズムを把握するとともに、会話を多く持てるような関係作りに努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			日常生活の中から、本人の困っていることやしたい事等を全職員で意見を出し合い、カンファレンス等でも話し合い、介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			利用者、ご家族に希望をお聞きし、又、主治医のアドバイスを受けて介護計画を立てておられる。		さらに、利用者のこれまでの暮らし方等も踏まえた「その人らしい」暮らしを継続できるような計画の工夫も期待される。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			介護計画の見直しがあれば、月1回のミーティングで 話し合い、本人の要望や、状態の変化によってその都 度検討し見直しを行っている。		
			(外部評価)		
		3ヶ月毎の見直しとなっている。			
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別に記録をし、必要事項は管理日誌や申し送りノート に記入し、毎出勤時に確認するようにしている。そ の中で必要であれば毎月のミーティング時にカンファ レンスを行い情報の共有を図り見直しに活かしてい る。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			本人や家族の状況に応じて、柔軟な対応ができるよう に心がけている。		
			(外部評価)		
		利用者の意向等も聞きながら取り組んでおられる。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を活用したり、小学校からの児童の受け入れを行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在は利用している方はいない。必要に応じて対応するようにしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 砥部町、介護保険施設、ケアマネジャー連絡会の会議を通して参加している。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 2週間ごとに1度の協力医療機関からの往診や、以前からのかかりつけ医で継続される方もいる。 (外部評価) ご家族が受診に付き添われる際には、職員も同行し、医療機関と連携を図っておられる。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) かかりつけ医や専門医と相談できる体制にある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師資格をもつ職員が1週間に2回以上、また、緊急時や必要時には、すぐに対応できる体制をとっており、日常の健康管理など、いつでも相談できるようにしている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は医療機関と情報交換を行い、なるべく早期退院できるよう家族とも相談している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) ターミナルに対して協力医療機関の医師や家族などと必要に応じて話し合いを何度も行い柔軟な対応が行えるようにしている。 (外部評価) 利用者の状態変化時には、医師の指示を仰ぎ、今後の支援についてご家族等と話し合うようにされている。これまで事業所で看取りを支援された事例もあり、ご家族も事業所に泊まり、最期を看取られた。		さらに、終末期のあり方については、ご本人ご家族も不安や心配なことでもある。意向を聞き取られたり、話し合うような機会を設けられてはどうか。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 入居時や必要時には、ターミナルに対する要望を聞き取り、事業所でできること、できないことをその都度話し合っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人、家族、ケア関係者と十分な情報交換を行い、生活歴、ケアに関する情報を共有することによってダメージを防止するように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価)		
			利用者の方への接し方では、介護をしている、されているという雰囲気がかもし出さないように職員間で話し合い、気づかいの工夫をしている。		朝礼の申し送りの際や利用者がいらっしゃる所での話は、あからさまに相手の方に分かるような話し方にならないように注意している。
			(外部評価)		
			職員は、利用者に優しく対応されていた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			声掛けの内容、タイミングには十分配慮し、本人の力量に応じながら、声掛けをし傾聴している。		利用者の方が主体であるということをいつも念頭に置いている
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			利用者の方と信頼関係を築くようにし、その話し合いの中で、ライフスタイルや、したい事を聞き出し、柔軟に対応できるようにしている。		
			(外部評価)		
			日曜日には、のど自慢を見ることを楽しみにされている方や雑誌を定期的に購入される方等、これまでの暮らし方を続けられるよう支援されている。		さらに、事業所での過ごし方等、利用者個々のこれまでの習慣等を探りながら、その人らしい暮らしを続けられるよう、サポートしていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時には着る服などもお聞きして、モーニングケアをし、理容、美容についても、要望をお聞きするよう努めている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日常生活の中でどんな物が食べたいかお聞きして、調理の前の準備や、後片付けもできる限り要望を聞くようにしている。 (外部評価) 現在、職員が食事を手作りしておられる。利用者の中には食器洗いをされる方もいる。		さらに、職員は「利用者は他にもできることがあるのではないか」と話しておられた。利用者個々のできそうなことを探り、食事作り一連の流れの中で利用者個々が力を発揮し、さらに食事を楽しむための支援を工夫されてみてほしい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個々の望むおやつや飲み物の好みをお聞きして、要望に答えられるよう支援している。		
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェックを毎日行い、パターンを把握するように努め、トイレ誘導を心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしま わずに、一人ひとりの希望やタイミングに 合わせて、入浴を楽しめるように支援して いる	(自己評価)		
			日曜日は入浴はないが、他の曜日は昼からの希望が多 いので、希望を聞きながら、また声掛けも工夫しなが ら支援している。		
			(外部評価)		
			湯船でリラックスできるよう支援されている。又、時 に入浴剤を用いて楽しめることもある。		さらに、利用者のこれまでの入浴の習慣等を探り、楽 しい入浴の時間を支援されてほしい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況 に応じて、安心して気持ちよく休息したり 眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中は午前中60分程度の体操や歌、散歩等で活動的 に本人のペースで動いたり、休息したり、眠れるよう に支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるよ うに、一人ひとりの生活歴や力を活かした 役割、楽しみごと、気晴らしの支援をして いる	(自己評価)		
			本人の出来ること、興味があること、好きなことを把 握しながら、集団の中でその方の役割を活かせるよう 声掛けをしている。		
			(外部評価)		
			ご本人からは、「楽しく暮らしたい」という希望が多 くある。午前中に体操の時間を設けておられた。演歌 歌手のビデオ等を楽しめることもある。		現在、事業所では、利用者の余暇の過ごし方について 検討を重ねておられる。利用者一人ひとりの楽しみご とや役割等についても職員で話し合い、生活歴等も活 かしながら支援に工夫を重ねていかれてほしい。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さ を理解しており、一人ひとりの希望や力に 応じて、お金を所持したり使えるように支 援している	(自己評価)		
			買い物に行きたいときには一緒に行き、支払いもして いただき、頼まれたときも領収書をつけて預かったお 金を返し、残金を確認している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩は希望時にはいつも行っている。また、水やりや花を見に歩かれたり、車椅子も利用し、出来るだけ外の空気を吸えるよう工夫している。		
			(外部評価)		
		気候等も見ながら、散歩等に出かけておられる。		さらに、事業所では、お金を持って買い物に出かけたり、ウインドウショッピングや小旅行等、利用者が外出して楽しい時間を過ごせるような機会を作っていきたいと考えておられた。	
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			本人の希望を聞き、空港やお寺、ショッピング、外食など出かけられる支援をしている。		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は希望時はいつでも、年賀状やあいさつ文は希望者と一緒に書いて出せるよう支援している。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも訪ねて来てもらえる雰囲気づくりや、出迎え、見送りなども気持ち良くなれるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしないケアについては、言葉の拘束につい ても気を付けている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 基本的には鍵をかけていないが、本人の希望でかけら れることもある。外出も自由に出入りできるようにし ている。 (外部評価) 玄関は鍵をかけていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、 昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	(自己評価) リビングには必ず職員がいるように、また、用事があ るときには職員同士で必ず声掛けをし、目配り気配り に気を付けている。(夜間も)		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのでは なく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 調理器具や危険なものについては、職員間で話し合い 注意しあっている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止についてはミーティングで話し合ったり、必 要に応じて家族にも連絡、相談している。事故が起 こった場合には全員で話し合い再発防止に努めてい る。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルを作成し職員全体に周知している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の方に協力していただけるよう働きかけてはいるが十分とはいえない。 (外部評価) 消火栓の確認をされた。又、消防の協力を得て、職員で実際に消火器を使い、訓練をされた。		運営推進会議を活用し協力いただけるよう働きかけたい。 さらに、いざという時に地域の方が駆けつけてくださるよう、協力者を増やしていかれてほしい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) リスクに対しては、家族の方と話し合いを持っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日ごろから会話を多くし、利用者の方と信頼関係を築くようにし、朝夕の申し送りや連絡ノートを活用し職員全体で把握できるように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ファイルを作り職員全体が利用者の薬の効能、副作用について把握できるよう努めている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 必要に応じて繊維の多い食品を取り入れたり、歩行などの運動や腹部マッサージをしたりしている。それでも改善できない場合は主治医に相談している。		生活の中で運動不足を解消するための、生活動作をとることに努めている。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後に、口腔ケアの流れが自然に出来るように声掛けをし、能力に応じて介助している。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事摂取量を毎食後記入している。月初めには体重測定を行い、食事は一汁三品から四品を目安に調理している。また、必要時には水分チェックをしている。 (外部評価) 旬の野菜もふんだんに使用し、1日約1500～1600キロカロリーを目安に食事作りをされている。利用者がコーヒー等を入れて飲めるように共用空間に準備されていた。寒天やボカリスエット等も、医師と相談しながら採り入れておられる。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを作成し、全職員で勉強し対策に努めている。利用者の方、職員は毎年予防接種をしている。		必要時には、塩素酸系の消毒をしている。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、包丁、布巾などは毎日漂白し乾燥させ清潔にしている。		
2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りは清掃し季節の花などをプランターに植えている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 1～2ヶ月に1度は季節に応じた模様替えをしている。食堂には花などの季節感のあるものを置いている。 (外部評価) 居間から外の景色が見えるようになっている。畳の間では、コタツで横になっておられる方もうかがえた。又、ソファやイス等、利用者それぞれに居場所ができていた。		さらに、利用者の活動意欲を高めるようなしつらえの工夫等についても、考えてみてはどうだろうか。
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや和室を利用されたり食卓や居室で思い思いに過ごせるようなスペースを設けている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい 又は取組みを 期待したい項 目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 せるような工夫をしている	(自己評価)		
			テレビ、たんす、家族の写真などなじみの物を持って いられている。		
			(外部評価)		
			居室は、ご家族と相談しながら、しつらえておられ る。ものの置き方等にも、こだわりを持っておられ る方もおられた。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温湿度計を全居室に設置している。エアコン（除湿） や衣類調整を配慮して声掛けしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりを必要な所を調べて設置している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	(自己評価)		
			その人にとって何が分かりにくいかを探し出し、ミー ティングなどで話し合い、その人にとって分かりやす く暮らせるように努めている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダには椅子を置き、おやつを食べたり、花壇で は花作りやさし木をして楽しまれている。		

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ②利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の方の性格や、思いを理解できるよう、細かい心のアンテナをはり、心の奥に潜んでいる思いの把握に努めるよう取り組みたい。
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	少しずつでも時間を見つけては、そばに寄り添い一緒に過ごすようにしている。また、その時には個々の要望に沿うようにも努めている。
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自己表現をしにくい利用者の方には声掛けの方法も考えながら表情などで理解するよう努めている。
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その都度の表情や言葉などで個々の要望に沿えるように努めている。また、その支援によって笑顔が見られる事も多い。
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	井戸端会議や日常の会話の中で外出の希望を聞くようにしているが、散歩や外出を好まれない方もいらっしゃるので希望を言える様な雰囲気作りに努めている。
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的に協力医院の医師による往診や家族の方の協力による通院、また看護師との連携により体調の変化には早く気づき、早く対応するように努めている。
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々の利用者の方との信頼関係を築けるように日頃から意識して接するように努めている。
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ②家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	要望を話していただけるような接し方(信頼関係)に、注意して会話をするように努めているが、面会にほとんど来られない家族とは十分とはいえない。
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③たまに 4 ほとんどない	利用者の方の近くの知り合いの方はよく来られるが、地域の人々や馴染みの方が来られる事は少ない。今後努力したい。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	(自己評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 ③あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議や、夏祭りなどへの参加で、少しずつは理解されてきていると思うが、今後も努力したい。
98 職員は、活き活きと働けている	(自己評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 ②職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔が多く、ミーティング時も活発に建設的な意見が多く出ている。
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々の利用者の方の今何が必要なのかをいつも考えながら話をするように努め、信頼関係が築けるように取り組んでいる。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 ②家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族の方がよく面会に来られたり、よく話をする家族の方はある程度満足していると思われるが、接点のあまりない家族の方とは密に連絡を取りながら満足していただけるサービスを提供できるよう努めたい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・職員自身の健康管理に十分注意し、精神のバランスを整え、いつも笑顔で利用者の方と接することができるよう努めている。

・介護する側の一方的な自己満足にならないように利用者の方の心の奥に潜んでいる思いについて、いつも振り返り反省するように職員間で話し合いを持つようにしている